

<実践報告>

「身近な材料を使った造形表現」における教材の開発

ー落ち葉を使って立体表現する可能性を求めてー

安藤 恭子

1. はじめに

幼稚園教育要領の今回の改訂では、幼児教育において育みたい資質・能力の基礎が今まで以上に明確にされた。とりわけ、「資質・能力」の三つの柱が定義づけられた。その柱とは、遊びや生活を通して総合的に力が育まれていくものと捉える。

「知識及び技能の基礎」……豊かな体験を通じて、感じ、気づき、わかり、できる!!

「思考力、判断力、表現力等の基礎」……気付いたり、できるようになったりしたことを使いながら、考え、試し、工夫、表現!!

「学びに向かう力、人間性等」……心の動き、やる気、態度の向上!!

これらの3つの柱を踏まえて、その改訂に適した造形表現の教材の開発を試みた。

2. 季節を体感できる素材を求めて

かつて、県美術館に勤務していた頃のことである。美術館を取り囲むたくさんの木々が、秋になると色々な実や葉を落とした。近くの幼稚園や保育所の子どもたちが美術館の森の中で楽しげに拾い集める姿をよく目にした。教師や保育士によると、持ち帰った葉っぱなどは画用紙などに葉っぱを糊付けして貼り絵を作らせるとのこと。落ち葉を使った製作＝平面的な貼り絵という発想が多くを占めていることが実態の中、造形的な立体感覚が育ち、製作過程で身に付く技を意識した教材化を何度も試みた。それがはっぱマン作りの基となった。

「森から生まれたよ!!落ち葉を集めて葉っぱマン」と題して、櫟（けやき）の落ち葉を主な素材に選んだ。

主な選定理由は、下記のようなものである。

ア. 幼児の手の大きさに合い、掴み易い。

イ. 一枚の葉は縦5センチ程度、幅1センチ程度で、ポリ袋等に幼児の力で十分に袋詰め等の作業ができる。

ウ. 公園や公共の施設などの庭でよく見かける。

製作過程では、幼児の手の巧緻性から、適当と断定し、台所用Sサイズポリ袋とセロテープ、モール、シールを主な材料とした。

製作過程で幼児に身に付けさせたい主な技能(わざ)をできた喜びを描いて次のように設定

した。但し、発達に合わせて教師が援助する。

- ① 葉っぱをポリ袋に詰める。——— 掴んで袋詰めをするわざ
- ② ポリ袋を閉じる。——— 葉っぱが飛び出さないようにセロテープで閉じるわざ
- ③ 耳を作る。——— ポリ袋の角二か所をつまみ、モールでねじり縛るわざ。

たった3つのわざであるが幼児が製作中に身に付けられるように意識して教師が幼児に関わることが大切である。

3. 落ち葉を集めてはっぱマン製作過程で期待したい幼児が育つ姿

文部科学省「幼児部会における審議の取りまとめ」より「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」(10の姿)を意識して製作過程の中で一人一人に寄り添った教育こそが今後はより一層教師に求められることである

(1) 健康な心と体

自分なりのはっぱマン作りに向かって心と体を十分に働かせ、教師の提案する葉っぱの扱い等を参考にしながらイメージを持って製作し、安全に気をつけながら生き生きと充実感のある生活をつくり出すようにする。

(2) 自立心

まずは、落ち葉の中に身を置き、触れたり、かさかさという音を聞いたり、においを嗅いだり等、五感を十分に働かせ、素材である落ち葉と関わる。教師から提案されたはっぱマン製作を主体的に受け止め、自分なりの工夫で心を込めてやり遂げようと、五感を働かせて熱心に取り組むようにする。

(3) 協同性

自分なりのはっぱマンを製作する共通の目的をもつ過程では、お互いに助け合っ、例えば、耳を作る過程で、モールで縛る担当と持ち手にお仕事分担して、やり遂げることができるように共同作業を設定して、体験を通して共同で製作することの素晴らしさを実感するようにする。

(4) 道徳性・規範意識の芽生え

友達と同じ目的ではっぱマンの製作をする中で、共同で使用する素材を扱うことが多い。教師と共にきまりをつくり、周囲の友達の気持ちを考えて素材を扱う工夫を大切に製作するようにする

(5) 社会生活との関わり

はっぱマンをどこに飾ったりするか、また場合によっては、誰かにプレゼントするかまでの目的意識や見通しや夢を実行するまでを製作過程と捉えたい。飾りたい場の施設の人たちが笑顔になったり、プレゼントした相手が喜んだりする姿を描いて製作することはより意欲的に製作する基となる。心をこめて精一杯より良いものを作ろうとする心意気が一人一人の活力を付け、創造力や感性を磨くことになる。保育者は、寄り添いながら、一人一人の心情を大切に社会とのつながりを大切にするような援助をするようにする。

(6) 思考力の芽生え

まずは、素材である落ち葉に直接触れることでその感触や見た目で見つけたことなどで、素材への関心を持ち、その性質などを感じ取ったり、気付いたりして、新しく知ったことに喜びを感じることを大切にする。

これから製作するはっぱマンを教師の提案を基に自分なりに、考えたり、予想したり、工夫したりするなど多様な製作過程を楽しむようにする。

また、友達の様々な製作に触れる中で、自分とは異なる表現があることに気付き、製作を補修したり、新しく付け加えたりするなど、製作する喜びを実感しながら、前向きで製作していくようにする。

(7) 自然との関わり・生命尊重

春には新芽が出て、夏には青葉が茂り、秋には紅葉して落ち葉となる……等、身近にある木一本にしても感動的にその姿に気付かせ、様々な形で触れさせることで自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心を持って考え、はっぱマン製作過程を通して自然への愛情や畏敬の念を持つようになる。まさに、うってつけの教材として、季節感を感じさせながら身近な動植物への慈しみの心が育つようにする。

(8) 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

「Sサイズのポリ袋に、櫟の落ち葉をどれ程詰めることができるか」についてその量を掴むために、試しながら親しむ体験をして分かることができる。この体験を丁寧に行うことで数量に対する興味や関心、感覚を持つようにする。

(9) 言葉による伝え合い

はっぱマンの製作過程では、製作に関する様々で豊かな心の通う会話が、教師や友達の間で交わされる。また、作品に名前を付けたりして、はっぱマンになりきり、

楽しい劇遊びやごっこ遊びなど、発展的に作品を活用して、言葉による伝え合いを楽しむようにする。

(10) 豊かな感性と表現

落ち葉などの素材に直接触れ、感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や、教師から提案されたものづくりの表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを製作の中で生かして表現することで、表現する喜びを味わわせたり、意欲を持つようにする。

○ 以上、「幼児期に育てて欲しい10の姿」は、開発した教材「落ち葉を集めてはっばマン作り」の製作過程においてすべて具現化できると確信する。

☆ 「落ち葉を集めてはっばマンの製作」で「アクティブ・ラーニング」の実現

☆ アクティブ・ラーニングは、「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」という3つの視点が重視される。はっばマンの製作に当てはめてみる。

「主体的な学び」の視点……森に出かけ、五感を働かせて、積極的に落ち葉と関わろうとする。保育者の提案を基に、自分なりの工夫をしながら、自分のはっばマン実現に向かって製作を進めているか。

「対話的な学び」の視点……落ち葉の袋詰めや、耳作り等の過程で、お互いに持ち合ったり、モールをひねる活動を教え合ったりして自分の製作したいはっばマンが形作られるような対話的な学びが実現できているか。

「深い学び」の視点……自分の満足できるはっばマンになるように、色々試しながら体と心を動かして、夢中で創り上げていく。はっばマンを生活の中で生かすように飾ったり、ごっこ遊びをしたり、プレゼントしたりして、生活の中で生かしていけるか。

「落ち葉を集めてはっばマンの製作過程」で「アクティブ・ラーニング」の実現は叶うものと確信する。さらに、次の開発教材へと連結し、子どもたちの実態に応じて提供していきたい。

※ 「落ち葉を集めてはっばマン」は、昨年度、今年度のシラバスに組み込み、一年生学生用にアレンジして実践した。その他、まどか幼稚園等で実践した。

おはをあつめてのツルピマン

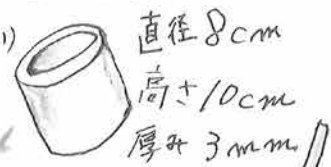
PART II 胴体を作る!



胴体や手足ができてうれしー



厚紙の筒
何か工作に
使ってね
(田中先生お)



手足を付ける
ために4つの
穴を開ける
(電気ドリルやきりなど)



麻ヒモなどを
通しておく



ローテープで葉っぱを貼る



↓手足の先に
松ぼんず
などを
くっ
つける



ユマニテク短期大学



ひなたぼっこ
大女子!!
はつはマン

おはなをあげてハッピーマン

おはなざかりです!!



かさかさに乾燥した
おちば
(おすめば、ケヤキの葉)

カーモール
いろいろ

ドングリなど
木の突小枝
まつぼっくりなど

ポリ袋 (Sサイズ)
(薄手のもの)
180x150 など

シール、油性インク、接着剤、セロテープなど

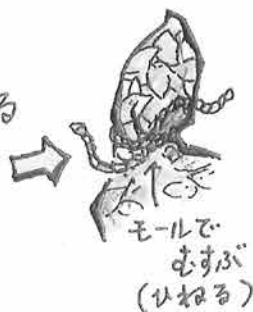
大きいポリ袋に入れておく
ス〜3年は、使えるよ。



よくかわらす
つめおわたら
はらばら
こぼれない
ように
セロテープで
工夫して
とめる

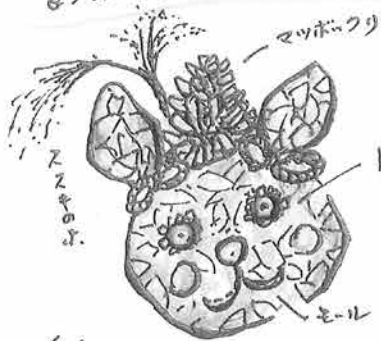


セロテープで
はたところの
ぼんたいど



モールドで
むすぶ
(ひねる)

あとは、ご自由に、目をつけたり
まつぼっくりなどのぼうしをかぶせたりする。



目は?
紙のシール
目玉シール
ペットボトルのふた
など



リボンテープ
→ スズランテープ
→ 布テープ

身近な材料を付けて
ゆたかに発想していく!

さるぼぼ風に
応用!!



アイスクリームなど
カップ

手と足を
つくります



テープでつなぐ
はめがはす

Andoh



ハッパマンづくりは
落ち葉を集めから



ビニール袋の角が耳



松ぼりりと相性お



ハッパマンの体
ハッパマンを貼る



ならんだ ならんだ ハッパマン



校庭の枕木でひと休み。





ハロウィン・イベントの準備中

